



■ 1、海外の協定相手校

	校数
協定相手校	3

■ 2、社会貢献活動

	活動数
社会貢献活動	38

■ 3、大学間連携

	連携数
大学間連携	3

■ 4、産官学連携

	連携数
産官学連携	24

1. 海外の協定相手校

国名	大学名	概要
Canada	MacEwan University	現在3大学と大学間連携協定を締結しており、学生交流をはじめ今後教員連携、共同研究を実施予定です。また、本学学生は短期海外研修にて各大学で語学研修および医療施設見学実習等を実施しています。
Australia	Curtin University	
South Korea	Sahmyook University	

2. 社会貢献活動

森ノ宮医療大学 市民公開講座「予防・治療から社会復帰へのケア～最近の進歩～」				参加数
4月15日	第19回	命を守る臨床工学	臨床工学技士、本学教員	119
6月17日	第20回	がん診療の最前線	内科医、本学教員	93
10月28日	第21回	パーキンソン病	内科医、本学教員	119

森ノ宮医療大学が連携協定を結ぶ医療機関の協力を得て年に3回開催する公開講座です。毎回身近な疾患を共通テーマに、基調講演では医師や技士が診断や治療についてわかりやすく講演し、学内の3人の研究者がそれぞれの専門分野を活かしてケアやリハビリなどについて講演します。

森ノ宮医療大学 地域子育て支援事業「もりもりひろば」				家族数	参加数
4月28日	第67回	なにしてあそぼ		9	21
5月26日	第68回	がんばりすぎない子育て		8	19
6月23日	第69回	保健師課程の学生による健康教育「おむつはずしの第一歩」		14	33
7月28日	第70回	ベビーマッサージ		9	19
9月22日	第71回	食育SATシステムを使って、栄養バランスを考えよう		5	10
10月27日	第72回	小児鍼によるファミリーケア		5	11
11月24日	第73回	感染予防について(手洗いチェッカーを用いて)		1	3
12月22日	第74回	なにしてあそぼ		3	8
2月26日	第75回	感染症対策インフルエンザに気を付けて		3	8
3月23日	第76回	乳がんの自己検診法		5	4
合計				62	136

森ノ宮医療大学看護学科教員が支援する子育て家族支援プロジェクトです。子育て中の家族の交流や、育児に生かせる知識の提供、絵本や親子遊び・集団遊びを通じて地域や親子の絆を深めることを目的に、「育児」や「育自」の知恵、知識そして地域力をパワーアップしていただくための参加型教室です。希望者には身長・体重計測を行っています。

森ノ宮医療大学 介護予防教室「ほほえみくらぶ」(回数は年度内の数字)				参加数
4月15日	第1回	スリーA認知症予防ゲーム		27
5月20日	第2回	スリーA認知症予防ゲーム		25
6月17日	第3回	スリーA認知症予防ゲーム・熱中症予防		19
7月15日	第4回	スリーA認知症予防ゲーム・足からのバランス改善		22
8月19日	第5回	スリーA認知症予防ゲーム		25
9月16日	第6回	スリーA認知症予防ゲーム・ツボ刺激で認知症予防		24
10月21日	第7回	スリーA認知症予防ゲーム・ニューロダンス		25
11月28日	第8回	スリーA認知症予防ゲーム		24
12月16日	第9回	スリーA認知症予防ゲーム・棒体操で心も体も柔らかく		21
1月20日	第10回	スリーA認知症予防ゲーム		24
2月17日	第11回	スリーA認知症予防ゲーム・脳トレーニング		28
3月17日	第12回	スリーA認知症予防ゲーム・咀嚼と健康		23
合計				287

森ノ宮医療大学看護学科教員が「もりもりひろば」の高齢者バージョンとして始めた認知症予防を目的とした教室です。内容は「講習」「体験:脳活性化ゲーム・笑いヨガ・ダンス」「実習:介護福祉機器の使い方・介護食」等を実施しています。

森ノ宮カップ		概 要
2月9日 10日	森ノ宮カップ U-12 少年サッカー大会	主催: 森ノ宮医療大学、開催場所: 舞洲スポーツアイランド 本学の広報活動と企業提携の一環として少年サッカー大会を企画運営し、兵庫県、奈良県、大阪府、滋賀県、和歌山県からエントリーした24チームが参加しました。本学鍼灸学科で構成する「メディカルスポーツトレーナー研究会(MST)」(以後MSTと記載)が選手のサポートや保護者向けの「お灸」体験を実施し、高い評価を得ています。
その他のイベント等		概 要
5月6日	2018 森ノ宮フェスティバル U-13 (少年サッカー交流戦)	本学の広報と企業提携の一環として少年サッカー大会を企画運営し、学生トレーナーの実習の場として交流戦をサポートしました。MSTのトレーナーが、参加した6チームを対象に「スポーツ障害」に対するコンディショニング講座を実施しました。
6月16日 17日	森ノ宮医療大学 U-12 サマーフェスティバル	Boscovilla サッカーグラウンドにおいて、サッカーを行う中学生(8チーム)を対象に「Boscovilla Soccer Academy 選考会セレクション」のブースを出展し、選手の外傷(擦り傷、打撲等)の対応と、チーム別にMSTによるコンディショニング講座を行いました。
8月28日	認知症サポーター養成講座①	本学看護学科教員が、大阪市立南港北中学校で中学生を対象に「認知症サポーター養成講座」を行いました。第1回目は、認知症の方にしてあげられることを中心に学び、ロールプレイでは認知症の方への声掛けを体験しました。
9月14日	認知症サポーター養成講座②	本学看護学科教員が、大阪市立南港北中学校で「認知症サポーター養成講座」を行いました。第2回目は、認知症をテーマにした教材を用いて道徳の授業を行いました。
10月22日	第3回 ファミリーフェスタ	共催: 住之江区役所、咲洲まちづくりプロジェクトチーム 本学は南港南中学校体育館で「体力測定コーナー」を出展し、家族連れなどたくさんの方が握力、背筋力、血圧等の測定を行いました。
11月3日	咲洲こどもフェスタ 2017(11/3~11/4)	フェスタ主催: 咲洲こどもフェスタ実行委員会 ATC(アジア太平洋トレードセンター)にて、「科学の不思議を体験しよう! 身の回りで起こる不思議なことを簡単な実験を行ってみてみんなで解き明かそう。」をテーマに静電気や空気砲等を用いて科学の体験を実施しました。
10月22日	第3回 ファミリーフェスタ	共催: 住之江区役所、咲洲まちづくりプロジェクトチーム 本学は南港南中学校体育館で「体力測定コーナー」を出展し、家族連れなどたくさんの方が握力、背筋力、血圧等の測定を行いました。
11月3日	咲洲こどもフェスタ 2017(11/3~11/4)	フェスタ主催: 咲洲こどもフェスタ実行委員会 ATC(アジア太平洋トレードセンター)にて、「科学の不思議を体験しよう! 身の回りで起こる不思議なことを簡単な実験を行ってみてみんなで解き明かそう。」をテーマに静電気や空気砲等を用いて科学の体験を実施しました。
11月11日	2017 森ノ宮フェスティバル U-13 (少年サッカー交流戦)	本学の広報活動と企業提携の一環として、少年サッカー大会を企画運営しました。全6チームを対象に大会形式の交流戦を行い、参加選手に対し、急性外傷の対応と慢性的な症状に対するストレッチングやテーピングを行いました。学生実習として、メディカルトレーナーを目指す学生(1年生)を対象に、スポーツ障害の対処法についてトレーナー指導を行いました。

11月23日 11月24日 11月25日	2018 大阪マラソン ランニングクリニック補助および大会 協力	企業提携の一環として、ミズノ株式会社が行うランニングクリニックの補助としてMSTが参加しました。また、マラソン参加者を対象とした選手サポートブース(コンディショニング等を行う)を出展しました。大会当日はミズノスタッフとして参加しました。
2月9日 2月10日	森ノ宮カップ U-12 少年サッカー大会	主催: 森ノ宮医療大学、開催場所: 舞洲スポーツアイランド 本学の広報活動と企業提携の一環として少年サッカー大会を企画運営し、兵庫県、奈良県、大阪府、滋賀県、和歌山県からエントリーした24チームが参加しました。本学鍼灸学科で構成する「メディカルスポーツトレーナー研究会(MST)」(以後MSTと記載)が選手のサポートや保護者向けの「お灸」体験を実施し、高い評価を得ています。
2月11日	第34回 住之江区民マラソン大会	大会運営および、大阪鍼灸師会による治療ブースの協力と、ボランティアに参加しました。
3月17日	第7回 舞洲みんなのマラソン	主に走者を対象に、ストレッチやコンディショニング等の大切さを伝え、MSTがケアサポートを行いました。

3. 大学間連携

連携数	連携先
2校	相愛大学、学校法人常翔学園、放送大学

4. 産官学連携

医療施設と密接な協力、連携、人材交流を行うことを目的に、相互連携協定を締結し、学生の実習の場、地域医療の活性化の領域を広げています。

また、近隣及び関係する行政機関とも協定を締結し、学生の教育現場の体験、教職員相互の交流を目指します。

	連携締結年	連携協定締結先	目指す取組の概要等
1	平成22年 4月 6日	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	共同研究の実施、セミナー・研修会への相互受入、人材の相互派遣、本学学生の実習の受入、学生ボランティアの派遣 等
2	平成23年 7月 11日	医療法人協和会 千里中央病院	本学の教員の臨床研究の受入、本学学生の実習の受入 等
3	平成23年 12月 9日	医療法人 錦秀会	共同研究の実施、人材の相互派遣、本学教員の臨床研究の受入、本学学生の実習及び就職の受入 等
4	平成25年 5月 27日	公益社団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院	共同研究の実施、本学教員の臨床研究の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習及び就職の受入 等
5	平成26年 1月 9日	大阪市住之江区	住之江区の健康づくり事業への教員及び学生ボランティアの派遣、本学学生の実習及び就職の受入、市民公開講座の共催 等
6	平成26年 1月 15日	医療法人 協和会	共同研究の実施、本学教員の臨床研究の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習及び就職の受入 等
7	平成26年 2月 19日	中国 浙江省人民医院	(学術交流に関する協定)共同研究の実施、研究者および学生の交流 等
8	平成26年 6月 3日	大阪府 高槻市教育委員会	大学と高槻市立学校教職員の相互交流、本学学生の教育現場体験及び地域活動支援の推進 等
9	平成26年 11月 19日	医療法人社団有隣会東大阪病院	本学教員による臨床研究及び技術指導の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習及び就職の受入 等
10	平成26年 11月 25日	吹田市教育委員会	大学と吹田市立学校の教職員相互の交流、本学学生の教育現場体験及び地域活動支援の推薦 等
11	平成27年 2月 19日	学校法人相愛学園 相愛大学	教育研究活動及び大学行事、学生の自治活動及びサークル活動、地域の医療・福祉・健康に関わる貢献等についての連携・協力
12	平成27年 3月 9日	社会医療法人景岳会南大阪病院	本学教員による臨床研究の受入、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習及び就職の受入 等
13	平成27年 4月 15日	大阪市教育委員会	学校支援学生ボランティア事業
14	平成27年 7月 27日	守口市教育委員会	大学と守口市立学校の教職員相互の交流、本学学生の教育現場体験及び地域活動支援の推進 等
15	平成28年 1月 29日	社会福祉法人帝塚山福祉会	共同研究の実施、本学教員の臨床研究の受入、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習及び就職の受入 等

	連携締結年	連携協定締結先	目指す取組の概要等
16	平成28年 6月13日	大阪国際がんセンター (旧 大阪府立成人病センター)	共同研究の実施、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習の受入、大学院生への研究指導の受入等
17	平成28年 8月22日	学校法人 常翔学園	スタッフディベロップメントにおける大学間連携
18	平成29年 2月24日	社会医療法人純幸会 関西メディカル病院	共同研究の実施、本学教員による臨床研究の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習の受入等
19	平成29年 10月5日	株式会社 かなえるリンク	本学教員による臨床研究の受入、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習及び就職の受入等
20	平成30年 1月18日	放送大学	単位互換に関する協定
21	平成30年 1月26日	公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院	共同研究の実施、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習の受入、大学院生の研究指導の受入等
22	平成30年 4月19日	ミズノ株式会社	新商品開発・研究面での共同作業の推進、施設の相互利用、高等学校への活動支援、地域への社会貢献活動等
23	平成30年 11月1日	近畿大学病院	共同研究の実施、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習の受入、大学院生の研究指導の受入等
24	平成30年 12月3日	大阪重粒子線センター	共同研究の実施、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習の受入、大学院生の研究指導の受入等

地域とつながる 森ノ宮医療大学

～2018年度の社会連携事業～

想いのすべてを、医療の力に。



森ノ宮医療大学

学長からのご挨拶

森ノ宮医療大学は、大阪市住之江区の咲洲地区に2007年4月に誕生した医療系総合大学です。現在は、保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、臨床工学科、鍼灸学科の6学科と大学院（修士課程・博士後期課程）、助産学専攻科があり、医療職や研究職、教育職に就くことを目指す約1,500名の学生たちが学んでいます。



本学では、2020年4月に診療放射線学科（仮称）、大学院保健医療学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）を開設予定であり、更なる医療系総合大学として健康や医療に関わる教育研究活動と、社会に向けた情報発信に努めていきます。近隣にお住まいの皆さまをはじめ、企業や自治体と連携してさまざまな地域貢献活動を進めていきたいと思っております。

2019年6月
森ノ宮医療大学 学長 荻原 俊男

市民公開講座 予防・治療から社会復帰へのケア—最近の進歩—

第1回「命を守る臨床工学」

2018年度第1回の市民公開講座は、4月15日（日）に「命を守る臨床工学」をテーマに開催しました。基調講演では、本学臨床工学科学科長 片山俊郎教授が「命を守る臨床工学」について講演を行いました。その後大阪急性期・総合医療センターから臨床工学室 中村年宏先生をお招きし、「人工透析の進歩」についてご講演いただきました。

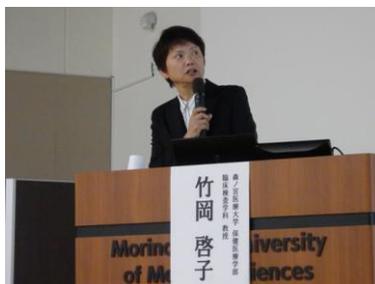
また本学臨床工学科 加納寛也准教授、看護学科 清水容子教授が、それぞれ「手術と臨床工学」、「暮らしと工学機器」というタイトルで講演を行いました。



第2回「がん診療の最前線」

第2回は6月17日（日）に「がん診療の最前線」をテーマに開催しました。基調講演では、大阪国際がんセンター副院長・腫瘍内科部長の今村文生先生をお招きし、「がん診療の最前線」についてご講演いただきました。

その後、本学看護学科学科長 吉村弥須子教授、臨床検査学科 竹岡啓子教授、鍼灸学科 仲西宏元教授がそれぞれ「がん患者の看護」、「腫瘍マーカーについて」、「緩和ケアと鍼灸」をテーマに講演を行いました。



第3回「パーキンソン病」

第3回は10月28日（日）に「パーキンソン病」をテーマに開催しました。まず基調講演では「パーキンソン病—診断と治療—」について大阪急性期・総合医療センター神経内科部長 深田慶先生にご講演いただきました。続いて本学看護学科 黒木美紀助教、理学療法学科 木内隆裕准教授がそれぞれ「パーキンソン病と看護」、「パーキンソン病と理学療法」をテーマに講演を行いました。その後、作業療法学科 橋本弘子教授の指導の下、来場の方々も体を動かして参加できる「ニューロダンス」による楽しいリハビリを体験しました。



もりもりひろば

本学近隣にお住まいの0歳から1歳半の赤ちゃんとそのご家族を対象に、育児に役立つ情報提供や健康教育、家族同士の交流促進などを目的として、大学内でほぼ毎月1回「もりもりひろば」を開催しています。看護学科の教員が中心となって運営しており、子育て支援にとどまらず、家族ヘルスプロモーション支援として、母親の身体的・精神的健康への啓発（がんばりすぎない子育て、笑いヨガ、乳がん自己検診法など）にも取り組んでいます。

開催日	テーマ
4/22	がんばりすぎない子育て（保育士の講演）
5/27	笑いヨガでストレス解消
6/24	子どもの周りには危険がいっぱい
7/22	赤ちゃんとのスキンシップ♡
9/9	食事のバランスを考えてみませんか
10/14	家庭でできるファミリーケア
11/11	おかあさんのヨーガ
12/2	感染症の予防は手洗いから
2/10	赤ちゃんの発達と関わり方
3/24	乳がんは自分で見つけましょう



ほほえみクラブ

地域の高齢者のみなさんを対象に、2015年度から開催している看護学科教員による介護予防教室「ほほえみクラブ」。その活動は、認知症予防ゲーム「スリーA」※を柱としていますが、作業療法学科、理学療法学科、鍼灸学科の教員の協力も得て、各学科の特徴を生かした健康のサポートを行っています。



※スリーA増田方式認知症予防ゲーム：スリーA（あかるく・あたまを使って・あきらめない）

健康体力測定

2018年11月4日(月・祝)に南港ポートタウン内で、大阪市住之江区役所主催のファミリーフェスタが開催されました。本学からは理学療法学科の三木屋ゼミが参加し「健康体力測定」を実施しました。

筋力、柔軟性、バランス能力等の測定項目があり、地域の老若男女約100名が本学のブースを訪れました。参加者は健康志向の方が多く、健康について考えるより良い機会となりました。



「認知症サポーター」養成講座

2018年8月28日(火)、9月14日(金)に大阪市立南港北中学校で「認知症サポーター」養成講座を開催しました。本学看護学科の福島信也教授が講師として授業を行い、本学の3年生も助手として参加しました。

1回目の授業は、認知症の方にしてあげられることを中心に学びました。特にロールプレイでは、認知症の方への声掛けなどを体験しました。2回目の授業では前回の授業を踏まえ、認知症をテーマにした教材を用いて道徳の授業を行いました。認知症の方をサポートするだけでなく、人とのつながり方等についてもクラスで話し合いました。

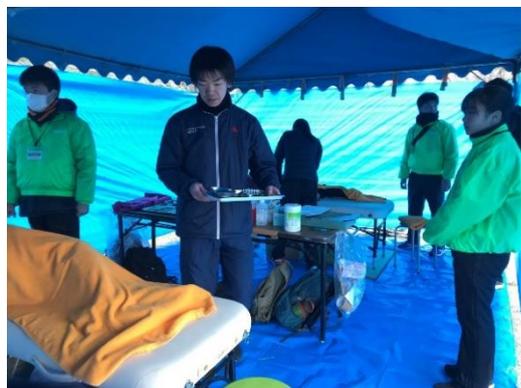
中学生が認知症について考えるきっかけとなる参加型の講座になりました。

中学校での養成講座の風景

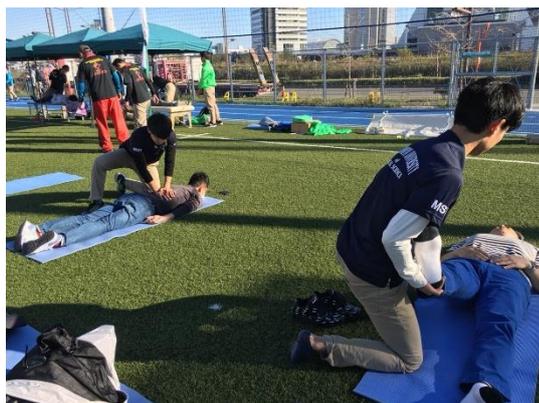


第34回住之江区民マラソン大会

2019年2月11日（月・祝）に南港中央公園で住之江区体育厚生協会主催の第34回住之江区民マラソン大会が開催されました。本学は「はり・きゅう体験ブース」を設置し、はり、きゅうの体験、ストレッチを実施しました。大阪府鍼灸師会ご協力のもと、鍼灸学科の学生も施術サポートを行いました。将来スポーツトレーナーを目指す学生にとっても、貴重な経験の場になりました。



第8回大阪マラソン 開催前イベント



2018年11月25日（日）に第8回大阪マラソンが開催されました。その開催前イベントとして、本学では、11月23日（金）、24日（土）にグリーンスクエアで、走者を対象としたケアサポートを行いました。

大会に向け、鍼灸学科の学生が中心となって運営している学生トレーナー（メディカルスポーツトレーナー研究会：MST）によるサポートを受けた参加者の方々に、ご好評をいただきました。

咲洲こどもフェスタ

2018年11月3日（土）、4日（日）に「咲洲こどもフェスタ」がATC（アジア太平洋トレードセンター）、さきしまコスモタワーで開催されました。

本学からは臨床工学科の教員及び学生が「科学の不思議を体験しよう！身の回りで起こる不思議なことを簡単な実験を行ってみんなで解き明かそう。」をテーマにブースを設置し、静電気での電気ショックや手を触れずに物を動かす体験、空気力で物を倒す体験を実施しました。多くのご家族が参加くださり、大いに盛り上がったイベントとなりました。



舞洲みんなのマラソン

2019年3月17日（日）舞洲スポーツアイランド（舞洲運動広場）特設コースにて、舞洲みんなのマラソン実行委員会主催の「舞洲みんなのマラソン」が開催されました。本学からは、MSTの学生トレーナーがテントブースを出し、参加選手のケアにあたりました。

当日は3月にしては気温も低く、ヒョウ混じりの雨が降るなど参加選手には厳しいコンディションとなりました。その中で学生たちは日頃の研鑽技術を参加選手に提供し、厳しいコンディションの中でもよい記録が出るように懸命に取り組んでいました。ストレッチなどのコンディショニング後、笑顔でテントブースを後にされていた参加選手が多かったことは印象的でした。

学生は、貴重な機会を与えてくださった参加選手に感謝するとともに、どのような状況下でも選手に確かな技術の提供が出来るよう、さらなる技術の研鑽の必要性を痛感したようでした。



森ノ宮カップ

2019年2月9日（土）、10日（日）舞洲スポーツアイランド（舞洲運動広場）にて、「森ノ宮カップ U-12」を開催しました。大阪府と近畿の他4県から全24チームが集まり、サッカーを通じて同世代の仲間と交流を深めました。

本大会は、「セレッソ大阪スポーツクラブ」「大阪咲洲ロータリークラブ」のご協力をいただき、毎年開催しています。

また、MSTの学生トレーナーが大会の運営および参加選手の救急対応を行い、ストレッチ指導などコンディショニングの重要性を伝えました。今後もスポーツの発展と地域への貢献の一環として活動を続けていく予定です。



2018年度の連携協定



ミズノ株式会社との締結式

2018年4月19日(木)に、ミズノ株式会社と相互連携協定を締結いたしました。

両者は今後、教育・研究・医療・人材育成・スポーツと健康文化あふれる地域づくり等を通して連携・協力を進め、社会に貢献していきます。



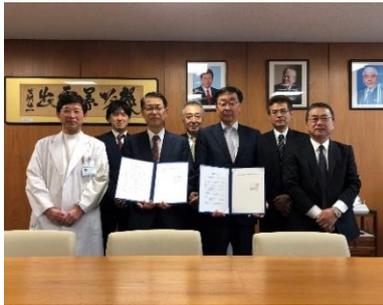
SAHMYOOK 大学 (三育大学) との締結式

2018年7月5日(木)に韓国のSAHMYOOK 大学(三育大学)と相互連携に関する協定を締結いたしました。

学生交流をはじめ、教職員間の学術交流、共同研究などを通じて、チーム医療に求められる豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人の育成をいたします。

2018年11月1日(木)に、近畿大学医学部附属病院(現:近畿大学病院)と、相互連携に関する協定を締結いたしました。

今後、同病院と本学は、相互の密接な連携・協力により、共同研究の実施、人材の相互派遣、本学学生に対する臨床実習指導等を行っていくとともに、教育研究活動の向上に寄与していきます。



近畿大学病院との締結式

2018年12月3日(月)に、大阪重粒子線センターと、相互連携に関する協定を締結いたしました。

今後同センターと本学は、相互の密接な協力・連携・人材交流により高度な医療・医学教育を共有し、保健医療・看護・健康増進・福祉等にかかわる地域の課題に積極的に取り組み、活力ある地域社会の形成・発展に寄与していきます。



大阪重粒子線センターとの調印式

2019年度 市民公開講座のご案内

回	開催日	テーマ	時間	実施状況
第1回	4月14日(日)	物忘れ	10:00~ 12:00	終了
第2回	6月16日(日)	診療放射線学の進歩	10:00~ 11:50	
第3回	10月27日(日)	がん診療の最前線2	13:30~ 15:30	

※開催場所はいずれも森ノ宮医療大学 当日は開催30分前より受付開始【入場無料・事前申込不要】

想いのすべてを、医療の力に。



保健医療学部

- 看護学科 ■理学療法学科 ■作業療法学科
- 臨床検査学科 ■臨床工学科 ■鍼灸学科

大学院 保健医療学研究科

- 保健医療学専攻(修士課程)
- 医療科学専攻(博士後期課程)

専攻科 助産学専攻科(1年課程)

※2020年4月、診療放射線学科(仮称)・看護学専攻(修士課程)(仮称)開設予定

